

## 『スポーツとジェンダー研究』 編集規定

2002年10月  
2003年7月改訂  
2005年11月改訂  
2014年6月改訂  
2016年6月改訂  
2019年6月改訂

1. 本誌は、日本スポーツとジェンダー学会の機関誌として、原則として毎年1回発行する。
2. 本誌は、原則として本会会員による未発表の投稿原稿（総説、原著論文、研究ノート）、学会大会登壇者論文等、海外文献紹介、書評、学会動向などを編集掲載する。
3. 投稿原稿は、以下の3種類とする。
  - 1) 総説：特定の分野やテーマに関する先行研究を集め、その分野やテーマの概説・研究動向・展望を示したものの。
  - 2) 原著論文：独創性・新規性のある知見を提示すると認められる論文。
  - 3) 研究ノート：研究・調査等によって得られた知見をまとめたもので、研究上の有用な資料となるもの。
4. 投稿原稿の掲載は、編集委員会が委嘱した複数の審査員による審査結果に基づき、同委員会において決定する。
5. 投稿原稿以外の原稿については、編集委員会で審査し、必要であれば、投稿者と修正について協議する。
6. 投稿者による校正は初校までとする。
7. 本誌に掲載された論文の著作権(公衆送信権)は日本スポーツとジェンダー学会に帰属するものとする。
8. 本誌の目次および掲載論文等は、原則として「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)を通じて公開する。ただし、編集委員会が特別の事情を認めた場合は公開しないことがある。

(付記) 編集委員会の事務局は、原則として編集委員長または委員が所属する機関に置くこととし、学会ホームページを通じて会員に周知する。編集委員会事務局のメールアドレスは、edit\_board@jssgs.org とする。

以上

『スポーツとジェンダー研究』 投稿規定

2002年10月

2003年7月 改訂

2014年3月 改訂

2014年6月 改訂

2016年6月 改訂

2021年3月 改訂

1. 原稿は、原則として本文を日本語とし、ワードプロセッサで作成したものとする。
2. 投稿者は、下記のいずれかの方法で原稿を編集委員会事務局に提出する。審査の公平性を確保するため、オリジナル原稿以外の印字原稿（コピー）またはデジタルファイルには、氏名、所属、謝辞等、著者を特定することができる情報を記入しない。
  - (1) 印字した原稿を郵送・宅配便等で提出する場合 A4判に印字した原稿及びそのコピー2部の計3部で提出する。なお、審査終了後掲載が認められた場合、文章及び図表が保存されたデジタルファイルを提出する。
  - (2) 原稿のデジタルファイルをメールや記録媒体（CD-ROM、USB メモリ等）で提出する場合オリジナル原稿のデジタルファイルと審査用デジタルファイル2点を提出する。デジタルファイルの形式は、Microsoft Word もしくは PDF、図表はMicrosoft Excel、写真は jpg または PDF とする。
3. 論文は、図表なども含めA4判に40字40行で14枚以内、研究ノートはA4判に40字40行で10枚以内とし、それぞれに著者、所属、連絡先、メールアドレス、キーワード3～5語及び300語以内の欧文抄録とその日本語訳を添付する。外国文献紹介、書評、学会動向などはA4判に40字40行で原則として10枚以内とする。この分量を超過した場合や特殊な印刷を必要とする場合には、その実費を投稿者が負担する。
4. 挿入する図表は、直接印刷できる正確で鮮明なものとし、投稿者が、通し番号とタイトル（図は下、表は上）をつけて、該当箇所に貼り付けておく。
5. 審査用原稿にページ番号（ページ下部中央）および行番号（ページごとに振り直し）を付加する。
6. 注は一括して論文末に掲げ、本文中の該当箇所の右肩に1）、2）のように挿入する。
7. 引用文献は、本文の該当箇所に、（執筆者名、発行年〔西暦〕、引用頁）の形式で示し、外国文献の著者名は、原著では欧文表記、翻訳書ではカタカナ表記とする。

<例> （木村, 1999, p.88）、（Hall, 1996, p.88）、（ホール, 1996, pp.23-24）  
（來田・田原, 2001, p.9）、（Fejgin and Hanegby, 2001, pp.45-48）  
（熊安ほか, 2001, p.11）、（Fasting et al., 2000, pp.3-8）
- ※引用頁は、読者が引用箇所を参照できるように、可能なかぎり明記してください。
8. 文献一覧は、注一覧の後に著者名のアルファベット順で記載する。著書の場合は、著者名（外国人の場合も姓を最初にする）、発行年（同年に発行された同じ著者の文献を

2冊以上引用する場合には、2002a,2002b のように表記する)、書名、出版社名、発行地の順に、論文の場合は、著者名、発行年、論文名、掲載雑誌名、巻(号):頁の順で示すものとする。

<例> 著書の場合 木村涼子(1999) 学校文化とジェンダー. 勁草書房:東京.

Hall, M.A. (1996) *Feminism and Sporting Body*. Human Kinetics: Canada.

熊安貴美江(2003) 男女いっしょの体育は無理?: スポーツ・身体とジェンダー. 天野正子・木村涼子編. ジェンダーで学ぶ教育. 世界思想社: 京都, pp.139-134.

論文の場合 來田享子(1998) アムステルダム大会への女子陸上競技採用決定直後の

FSFI と IOC の書簡の検討. 体育学研究 43(2): 91-101. Brackenridge, C.

(1997) He owned me basically...: Women's Experience of Sexual Abuse in Sport. *International Review for the Sociology of Sport* 32:115-130.

9. 掲載論文の別刷りを希望する場合は、著者校正時に、必要部数を申し出るものとするが、その費用は投稿者の負担とする。

以上